

予算報告

平成19年度当初予算は、前市長の辞職に伴い、政策的経費を抑えて義務的経費を主体とした骨格予算を編成しました。その後、新市長誕生の後、6月の市議会定例会において政策的経費主体の補正予算案が可決され、当初の骨格予算に肉付けされました。

肉付け後の一般会計予算額は181億7,175万円で、厳しい財政状況をうけ前年度当初予算と比較して18億524万円の減額、率にして約9%の減となりました。

税収は税源移譲により増に転ずるものの、三位一体の改革による国庫補助負担金の減額や、地方交付税の削減等により、依然として基金取り崩しに頼る厳しい状態は続いています。

そのため、市においては集中改革プランを策定し、目標数値を設定して、人件費の削減や普通建設事業の抑制のほか、施設管理経費の徹底した見直しや、各種団体等への補助金の削減を行っており、歳入に見合った歳出構造への転換を図るため、事務事業全体の経費削減に努めています。

会計別予算総括

五條市の会計は、中心となる一般会計のほか、8特別会計(国民健康保険や下水道事業など)と、地方公営企業法に基づく企業会計(水道事業)があります。

[単位：千円、%]

会計名	平成19年度 当初予算 (骨格予算)	平成19年度 1号補正予算 (肉付予算)	平成19年度 現計予算 (合計)	平成18年度 当初予算	※対前年度比較	
					増減額	増減率
一般会計	16,875,000	1,296,754	18,171,754	19,977,000	△1,805,246	△9.0
特別会計	国民健康保険	—	4,235,000	3,950,000	285,000	7.2
	簡易水道	—	468,500	574,100	△105,600	△18.4
	老人保健	—	4,157,000	4,082,600	74,400	1.8
	下水道事業	—	1,222,700	1,627,300	△404,600	△24.9
	墓地事業	—	3,240	2,150	1,090	50.7
	介護保険	—	2,860,400	2,712,100	148,300	5.5
	大塔診療所	—	54,200	56,610	△2,410	△4.3
	農業集落排水事業	—	2,190	2,300	△110	△4.8
	小計	0	13,003,230	13,007,160	△3,930	0.0
	企業会計	水道事業費用	—	766,839	803,604	△36,765
資本的支出		—	581,657	402,661	178,996	44.5
小計		0	1,348,496	1,206,265	142,231	11.8
合計	31,226,726	1,296,754	32,523,480	34,190,425	△1,666,945	△4.9

※ 対前年度比は、平成18年度当初予算と平成19年度現計予算との比較です。

市債残高の状況

[単位：千円]

会計別	市債残高		
	平成17年度決算	平成18年度決算見込	平成19年度予算
一般会計	32,580,956	33,091,072	32,396,376
簡易水道特別会計	3,007,192	2,999,578	2,971,242
下水道特別会計	10,277,664	10,444,302	10,289,626
大塔診療所特別会計	1,500	1,500	1,500
農業集落排水特別会計	29,900	29,900	29,900
水道事業会計	2,870,896	2,669,443	2,609,019
合計	48,768,108	49,235,795	48,297,663

主な基金残高の状況

[単位：千円]

基金名	基金残高		
	平成17年度決算	平成18年度決算見込	平成19年度予算
財政調整基金	1,569,578	1,072,578	516,578
減債基金	980,870	981,870	508,870
公共施設整備基金	704,139	105,139	5,139
その他特定目的基金	779,000	1,225,000	1,171,000
合計	4,033,587	3,384,587	2,201,587

五條市の平成19年度予算は、平成19年第2回市議会定例会での補正予算の議決を経て、骨格予算に肉付けされた年間のフル予算が成立しました。予算は市民の皆さんによって納められた税金や、地方交付税、国庫支出金などがどのように使われるかをまとめたものです。市政を皆さんに正しく理解していただくため、「市の家計簿」である予算の状況をお知らせします。